

アリアケギバチ

口の周りにヒゲが8本あるナマズの仲間で、30年ほど前、九州に住むギバチがアリアケギバチとして区別されました。

昼間は川底の石のすき間などに身をひそめています。夜には活発に動き、ひげをリーダーアンテナのように使いながら、水生昆虫やエビなどのエサを捕まえます。

ギバチ(義蜂)という名前のとおり、胸びれと背びれに毒針を持っており、体が黄色と黒色のまだら模様で、毒を持っていることを主張する危険信号とも言われています。限られた流域でしか確認されない希少種ですが、もし川で見つけても素手では触らないようにしましょう。

